

2021年11月度 定例所長会見 所長所感

- 福島第一原子力発電所の事故により、今もなお、大変多くの皆さまに、ご迷惑とご心配をおかけしておりますことを、あらためまして心よりお詫び申し上げます。
- 「核物質防護事案」や「安全対策工事の一部未完了」につきましても、地域の皆さまをはじめ、広く社会の皆さまに、大変なご不安をおかけしておりますこと、また、ご不信を抱かせておりますことについて、深くお詫び申し上げます。
- また、先月25日の1号機主変圧器エリアの排水ポンプケーブル端子における火災につきましても、地域の皆さまにご心配をおかけいたしました。こちらにつきましても、原因をしっかりと調査し再発防止に努めてまいります。
- 本日、私からは3点お話しいたします。

<改善措置活動>

- はじめに、一連の核物質防護事案を受けた改善措置活動の状況についてです。
- 先般提出した改善措置報告書において、IDカード不正使用の発生を踏まえ、厳格な警備業務を行う環境を確立するための対策を講じていくことをお約束しております。ここでは、その具体的な取り組みをご紹介します。

- まず、警備体制の強化として、警備業務の責任者である特別管理職と、外部での警備経験を有する専門の指導者を日常的に現場に配置し、日々、警備員の皆さんのふるまいについて指導しています。
- 発電所の核物質防護を担う防災安全部長は事務本館での執務だけでなく、自ら現場に足を運び、自らの目で現場を確認し、警備員の皆さんとの直接対話を頻繁に実施しております。これにより、現場の課題を迅速に把握し、改善を図れるように努めております。
- 一つの改善例といたしましては、防護区域の入域ゲート前の渋滞解消です。警備員の皆さんにとって、渋滞は焦りにつながります。
- そのため、入域者を運ぶ構内バスの運行時間の調整や、入域者のゲート通過までの導線改善を行い、現在では、ピーク時の渋滞は 1/3 程度に短縮いたしました。警備員の皆さんからも好評の声をいただいています。
- その他、防災安全部長による啓蒙メッセージ発信の取り組みや、所員同士が ID カードなどの管理状況を相互チェックする取り組みも実施しています。
- また、社長と私自身も、核物質防護業務を行う所員との直接対話を先月から実施しております。
- この中で、「冬場を迎えるにあたり、昨年並の大雪が降った状況で、仮に核物質防護設備の故障が発生した場合でも、速やかに対応・設備復旧ができるよう、今からしっかりと準備を整えておきたい」との意見がありました。

- 早速、この意見を防災安全部長にも伝えたところです。
- その他にも、「以前に比べ設備復旧が迅速になっている実感がある」「仕事への想いや意見を直属のグループマネージャーや部長に伝えやすくなった」また、「社長や所長にも直接伝え考えを聴くことができるようになった」「事務所や経営との距離が近くなった」といった改善に関するコメントも聴くことができました。
- 発電所では、今回ご紹介した取り組みを、まさに今、実践しているところであります。改善措置計画報告書の中で「済み」とご紹介した内容についても、対策や活動を持続していくこと、継続していくこと、浸透させていくことが重要と考えております。引き続き核物質防護部門の改善に向けて努めてまいります。

<改革への取り組み>

- 次に、原子力部門の改革に向けた取り組みをご紹介します。
- 先月の会見でお伝えしたとおり、スピード感をもって改革を進めていくため、私を専門的にサポートする本社スタッフを発電所に投入し、現場の体制を強化いたしました。
- 具体的には、大きく2つの機能を強化しております。
- 1つ目は、発電所長として改革を現場に着実に定着、浸透させていくため、新たに専任の副所長を任命しました。

- また、所長付には原子力改革の事務局機能を持たせ、改善措置活動や改革の取り組みをしっかりと発電所に根付かせていきたいと考えております。
- 2つ目は、原子力・立地本部長としての私をサポートする機能です。原子力・立地本部長としてのパフォーマンスを上げていくために必要な役割を明確化し、その専門家からなるチームをつくり、発電所に呼び寄せました
- このチームは、原子力・立地本部長をしっかりとサポートするために、現場で現地・現物に触れながら、私とともに発電所と本社機能が一体となって改革を果たしていく大きな力になります。
- この発電所の体制強化を皮切りに、引き続き、改革への取り組みをスピード感持って進めてまいります。
- 今月2日には、このスタッフが中心となり、本当にやらなければならない仕事は何かを考えるための対話会を、まずは部長級を対象として実施したところです。
- 今後、グループマネージャーやメンバーにも展開してまいります。

<地域共生活動>

- 3点目は、地域共生活動についてです。先月23日、「谷根川 さけの森づくりにおける植樹活動」という地域イベントにボランティアとして参加し、大勢の地域の皆さまとともに桜の木を植えてまいりました。

- 当日は、「所員の方が大勢参加してくれてありがたい」との温かいお言葉をいただき、こういった活動を通じて地域の皆さまとコミュニケーションを図ることがいかに大切であるかを改めて感じました。
- また、同日、サービスホールではハロウィンにちなんだイベントを開催しておりましたので、こちらでもご来場いただいた地域の皆さまと交流を持つことができました。
- この日が所長として就任して初めてのイベント参加となりましたが、今後も、地域のみなさまと直接お話ができる貴重な機会である地域イベントに、私も積極的に参加してまいりたいと思います。

<さいごに>

- 最後になりますが、先月下旬、当発電所での原子力規制委員会による追加検査の現地確認が実施されたところです。
- 今後も追加検査は続いてまいりますので、検査内容に応じて対応体制を整え、一つひとつのご質問やご意見に丁寧かつ迅速にお応えしてまいります。
- 本日、私からは以上です。

以 上